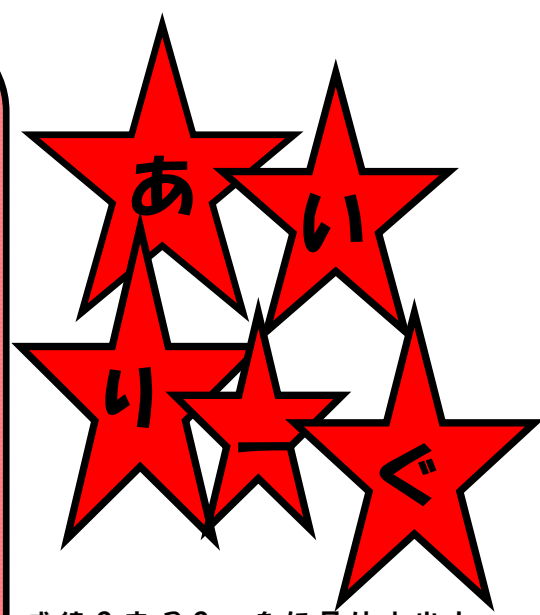


# 1リーグ日程表

- 6/21(土) 17:00～ vs F C 東京学芸 東学大G
- 7/26(土) 13:00～ vs 筑波大学蹴球部B 2 流経大G
- 8/2(土) 14:00～ vs 上武大サッカー部B 上武大G
- 8/9(土) 13:00～ vs 青山学院大学体育会サッカー部U-20 青学大G
- 8/23(土) 13:00～ vs R K U . S P I R I T 流経大G
- 8/27(水) 15:00～ vs 平成国際大学 平国大G
- 8/30(土) 11:00～ vs F C 拓大 青学大G
- 9/3(水) 13:00～ vs 中央大学学友会サッカー部B 1 中大G
- 9/11(木) 16:00～ vs F C 法政 法大G
- 9/15(月) 13:00～ vs 日本体育大学学友会サッカー部A 中大G

※日程の変更多々あり



1リーグとは、関東大学サッカーリーグに、計270分以上出場している選手は出られない大会で、全国大会もある。関東は、ブロックを4つに分け、各ブロックの上位2チームが決勝Tに進出し、関東代表2校の座を争う仕組みとなっている。

初戦のFC東学大戦を1-2で落とし、黒星スタートとなった駒大は、次の2試合を連勝するも、青学U-20戦を0-2の完封負けを喫してしまふ。続く流経大戦も引き分け、平成国際大学戦とFC拓大戦は2連勝したが、格下の相手に接戦を演じるなど、こまこまに納得のいく内容の試合をできていない事が多い。3試合を残す時点で勝ち点13の3位となったが、勝ち点13で並ぶ流経大と、1位の東京学芸大学は試合を4試合残しており予選突破には厳しい状況となっている。

そんな中行われた9月3日の中大戦は、駒大が積極的に前線からプレスをかけて主導権を握る。前半10分に、末吉が味方の浮き球のパスを胸トラップし、右サイドの須田に渡すと、シュートコースが空いた一瞬を見逃さず、エリア外から強烈なシュートを相手ゴールに突き刺した。その後もサイドをうまく使った攻撃を展開し、追加点は奪えないまでも再三チャンスを作り出した。ドリブルを仕掛けてゴール前まで侵入してくる相手に対して、DF陣も粘り強く対応し、相手に得点を許さず接戦をものにした。

決勝Tに進出する為には、まずは残り2試合をしっかりと勝つことが最低条件。あとは他チームの結果待ちとなるが、最後まで諦めず戦い抜き、なんとか予選突破を図りたい。

(佐藤 貴史)

## 第8節終了時までの結果

- 6/21(土) ★駒大1 - 2 FC 東京学芸
- 7/26(土) ☆駒大5 - 0 筑波大B 2
- 8/2(土) ☆駒大6 - 1 上武大B
- 8/9(土) ★駒大0 - 2 青学大U-20
- 8/23(土) △駒大1 - 1 R K U , S P I R I T
- 8/27(水) ☆駒大2 - 1 平国大
- 8/30(土) ☆駒大5 - 0 F C 拓大
- 9/3(水) ☆駒大1 - 0 中大B 1

注

目

選

手



笠井雄太(DF・2年)。DFからMFまでマルチな活躍で、ここまでチームを引っ張る。鋭い読みと高い身体能力で、相手の攻撃の芽を摘む姿は必見！トップチームでも争いの激しいポジションだけに、まずはこの舞台で安定したプレーを披露したい。



須田貴皓(MF・4年)。昨年は、4年生の活躍が初の全国大会出場に大きく貢献した。サイドからチームを鼓舞し、途切れない上下運動、今や得点源として強くなる存在感は、今のチームには欠かせない。ここ一番で頼りになる男に注目だ！



苗代泰地(MF・2年)。左サイドからの突破、正確なクロスの特徴とする。シュートへの高い意識、鋭く曲がるセットプレーと多彩な武器を持つ。しかし、プレーに波が見られ、途中交替のシーンが目立つ一面も。勝負の年となった苗代に是非とも注目してほしい。